

## テレビ会議システムを活用した伝え合う力の育成

### －小学校3年国語科での取組－

宮崎市立池内小学校 水野 宗市

classHP <http://www.mcnet.ed.jp/ikeuchi-s/h14/3-2/>

#### ◎ ねらい

テレビ会議システムは、学級内で話をするのと違い、カメラやスクリーンを通じて相手と話をするという特別な場となる。これまでの様々な実践より、テレビ会議システムを活用すると、児童は特別な場を意識して「大きな声で話そう」「はっきりと話そう」「わかりやすく話そう」ということをより意識して取り組むと実感している。

そこで、今回テレビ会議システムを年間的に活用して、発表したり聞いたりする場を設定することで、国語科で求められている「伝え合う力」の育成につながるのではないかと考えた。

#### ◎ 実施学年

小学校3年生

#### ◎ 利用場面

実施においては、毎週の国語の時間の3時間（予定）を活用し、1時間中に1グループが発表し、毎週3グループが発表を行うようにした。1グループは4名程度にし各グループの発表時にはどの子にもその場が提供されるように工夫した。

テレビ会議システムの活用については、宮崎市内がイントラネットでつながれていることを活用しIPベースで実践していった。IPによるテレビ会議システムを活用し、ケーブル高速回線により接続する。特に、画像・音声が少しでも明確に伝わることも本実践では必要であるのでその辺の配慮も行っていった。



#### ◎ 主な指導目標

毎回、テーマを設け、それについて話をしたり、相手の話を目的を持って聞くようにする。その中で、小学校3年生の実態も考慮して主に次のような点を目標とした。

- 自分の考えが相手にわかるように話す。
  - ※ 「はじめ」「なか」「おわり」を意識し、常にわかりやすくを目標に活動するようにする。
- 口を大きく開け、はっきりとした声で話す。
- 相手に聞きやすい速さで言葉つかいについて気を付けながら話す。
- 相手を意識し、カメラの方を向いて話す。
- 相手が話す内容についてできるだけ詳しく聞き、特に話の中心を聞き取る。

#### ◎ 成果と課題（○成果、●課題）

- 各回ごとに繰り返し行っていくことで、個人差はあるものの「口を大きく開け大きな声で話す」「はっきりとしゃべる」「カメラを見て話す」など少しずつできるようになってきた。また、児童自身も「今日は口を大きく開けることができた」「大きな声が出た」という声が聞かれた。
- 聞く活動においても、ワークシートの内容を見ると、最初はただ漠然と書いて書く量も少なかったが、後半は話の中心をしっかりと聞くことができるようになり書く量も増えてきた。
- 1年間を見通して、国語科だけでなくどの教科のどの単元と関連させて行っていけるかの見直しを行い、年間のカリキュラムを作成する必要があると感じた。
- 年間を通して、どこでどんな力の育成を目指すのかを再度整理していく必要がある。